

新ユニフォーム

誕生!

袖を通すたびに、会社の歴史と仲間との繋がりを感じる。創業60周年を記念して作られた新ユニフォームには、私たちの変わらぬ理念と、未来を共に創るという強い想いが込められています。

60年の誇りを胸に、新しいユニフォームで共に進む

創業から60年——。私たち日本陸送は、数々の困難を乗り越えながら『正直』『正確』『素直』という理念を胸に歩んできました。この理念は、私たちが常に大切にしてきた道しるべであり、いつの時代も揺るがない、変わらぬ信念です。そして、この60周年を迎えるにあたり、私たちは新たにユニフォームを発表します。このユニフォームには、ただのデザイン変更ではなく、私たちの理念を再確認し、それを共に実践していくという強いメッセージを込めています。



『正直』『正確』『素直』—— その理念を着る

新しいユニフォームは、私たちが守り続けてきた『正直』『正確』『素直』という理念を体現するための象徴です。このユニフォームを身に纏(まと)うことで、一人ひとりが理念の価値を実感し、それを行動に移すことができます。理念がただの言葉ではなく、日々の仕事に落とし込まれることで、私たちが目指す未来に向けた第一歩となります。

正直

お客様に『正直』に接し、信頼を得る。

正確

お客様のご依頼に『正確』な作業で対応し、安心してもらう。

素直

お客様に『素直』に従い、好感を持ってもらう。

この理念を全員が常に意識し、行動に移すことで、私たちはさらに強固なチームを作り、未来へ進んでいけると確信しています。



シンライン—— 信頼と協力の新たなライン

今回のユニフォームには、「シンライン」というコンセプトが込められています。単なる「新しいライン」を意味するのではなく、私たちの間に「信頼」や「協力」という強固なラインを築くという意味も込められています。

デザインの中には、「シェイクハンド(握手)」のシンボルが取り入れられています。握手は信頼を築き、協力を表す象徴です。このデザインを身に纏うことで、全員が共に手を取り合い、目指す方向に進むという強い意志を持続することができます。

運ぶということの真意

「運ぶ」という行為は、単に物を運ぶことではありません。それは、お客様の期待、現場での責任、そして何より人々の想いを背負うということです。だからこそ、私たちは一つひとつの「運び」に対して、常に高い精度と情熱を注ぎ込み、その価値を磨き続けています。

現代の課題(ワーク・ライフ・バランスの実現、2024年問題への対応、多様性の推進)に向き合い、解決策を見つけ、業界全体に良い影響を与えるため、私たちは引き続き力を合わせて進んでいきます。社会から信頼され、常に進化し続ける企業であり続けることが、私たちの目指すべき未来です。

この刷新プロジェクトは、1年半にわたる時間をかけ、現場の声、企業の原点、そして未来に向かうビジョンを丁寧に拾い上げるところから始まりました。目指したのは、「誠実で実直なシンプルさ」に、私たちの持つ「価値創造の情熱」と「未来への前向きなエネルギー」を感じさせる爽やかなデザインを融合させることでした。このユニフォームを着るたびに、私たちがどこから来て、どこに向かっているのか、あらためて胸に刻むことができる。そうした意味を込めたデザインです。



このユニフォームは、ただの衣服ではありません。それは私たちの意志、誇り、そして連帯感を象徴するものです。60年の歩みを胸に、そして未来への希望を胸に、新たな時代を共に切り拓いていきましょう。